大分県のすがた

位置及び面積

大分県は、九州北東部に位置し、東は豊後水道をへだてて四国をのぞみ、西は阿蘇山の東斜面を境とし熊本県に、南は祖母傾連山で宮崎県に、北は山国川及び英彦山によって福岡県に隣接し、さらに周防灘をはさんで山口県と相対しています。

東西118.6km、南北105.9km、総面積6,340.73㎢は、全国の約1.7％にあたり、山口県よりやや広く、群馬県よりわずかに狭い全国で22位の位置にあります。

地形と地質

本県の地形的な特徴としては、県北の耶馬渓に代表される開折地形、優雅な女性美を思わせる久住・飯田の高原地形、勇壮な男性美として祖母傾の山岳地形、そして大分市佐賀関から南は佐伯市蒲江に至るリアス式海岸地形などがあげられます。

地質的にはさわめて古いものから色々な時代の地層が揃い、加えて火成作用変成作用に多くの特色があり、さらに地殻変動の変化にも富み、それらが集約されて多彩な地質分布を呈しています。

気　　象

九州は一般的に温暖多雨ですが、各県さまざまな気象特性を有しています。中でも大分県は山地が海岸に迫っているため特に複雑です。

風は全体的に弱く年平均2～3m/sで、冬は北西、夏は南西の季節風が卓越しています。特に夏から秋にかけては、台風の通過により地域的に著しい被害をうけることがあります。本県の地域的特性を大別すると次の五気候区に分けることができます。

①内海型気候区　④山地型気候区
②準日本海型気候区　⑤内陸型気候区
③南海型気候区

県鳥「めじろ」

県花・県木「豊後梅」

県　旗

河　　川

県内の一級河川は、日本三大修験山の一つ英彦山に源を発し中流域は影勝地名勝耶馬渓を流れ、下流域で福岡県境となる**山国川**、由布岳に源を発し由布院盆地を貫流し県中部を流れる**大分川**、宮崎県境の祖母山と阿蘇外輪山に源を発し臨海工業地帯に多くの工業用水を供給する**大野川**、佩楯山（はいだてさん）南麓の三国峠に源を発し県南部を流れる九州屈指の清流**番匠川**、宮崎県北西部の向坂山に源を発し佐伯市宇目周辺の水を集め日向灘に注ぐ**五ヶ瀬川**、阿蘇外輪山とくじゅう連山に源を発し水郷日田を流れ有明海に注ぐ九州最大の**筑後川**の6水系374河川で延長2,077km（うち国土交通大臣管理区間は約197km）、二級河川は、93水系211河川で延長約989km、合計99水系585河川で延長約3,066Kmです。

この一級河川、二級河川の延長は九州で一番長く、全国でも12番目です。また、県管理延長は全国で10番目です。この他に市町村管理の準用河川が、一級水系に327河川延長約393km、二級水系に222河川延長約226Km、単独水系に51河川延長約46km、合計600河川延長約665kmとなっています。

○河川数・延長・管理区分　（令和元年4月1日現在）

区分	水系名	河川数（本）	流路延長（Km）	管理区分（流路延長）	
				国（km）	県（km）
一級河川	筑後川	80	449.5	61.3	388.2
	五ヶ瀬川	25	125.0	－	125.0
	番匠川	52	263.6	33.8	229.8
	大野川	135	810.3	32.3	778.0
	大分川	49	256.6	32.6	224.0
	山国川	33	171.8	36.5	135.3
計		6	374	2,076.8	196.5	1,880.3
二級河川		93	211	988.7		988.7
合　計		99	585	3,065.5	196.5	2,869.0

川づくりの方針～21世紀の「豊の国の川づくり」～

ダ　　ム

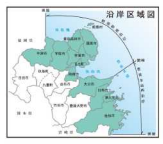
現在、合計9ダムの管理を行っています。また、地域に親しまれるようダム周辺環境整備も行っており、行入ダム湖岸では豊かな自然の中でパークゴルフを楽しめます。

（平成31年3月31日時点）

種　別	供　用　中	建　設　中
多目的ダム	芦川ダム、北川ダム、野津ダム	
治 水 ダ ム	安岐ダム、黒沢ダム、青江ダム、床木ダム、行入ダム、稲葉ダム	玉来ダム

海　　岸

大分県の海岸線は、豊前豊後沿岸と豊後水道西沿岸の２つの沿岸からなり、白砂青松の風光明媚な景観を有した海岸と複雑な凸凹を繰り返した典型的なリアス式海岸で形成されています。



（平成31年3月31日時点）

沿岸数	2	海岸総延長	769km	
うち、水管理・国土保全局所管				
海岸数	地区海岸数	海岸総延長	海岸保全区域全長	既施設延長
26	42	263km	55.1km	44.7km

河川管理

河川及び海岸の管理について

河川及び海岸（国道交通省所管海岸）について、公共用物として適切な状態を維持・管理するため、日常的な巡視を行い、不法占用や産業廃棄物等の不法投棄などの不法行為の防止に努めています。

また、河川・海岸環境保全のため、自治会やボランティア団体が実施する草刈り等の河川・海岸愛護活動に対する支援を行っています。

○草刈り作業

○河川清掃

○海岸清掃

各種許認可について

河川及び海岸について、各種の許認可事務を行っています。

●河川や海岸の区域指定に関すること。
●河川や海岸の土地の占用や使用、河川の流水の占用などに関すること。
●河川や海岸の砂利採取に関すること。
●河川や海浜地の公有水面の埋立免許に関すること。認可について

各種許認可の受付窓口及び問合せ先			
	豊後高田土木事務所	豊後高田市是永町39	0978（22）2285
	国東土木事務所	国東市国東町安国寺786-1	0978（72）1321
	別府土木事務所	別府市大字鶴見字下田井14-1	0977（67）0211
	大分土木事務所	大分市向原西1-4-2	097（558）2141
	臼杵土木事務所	臼杵市大字臼杵洲崎72-254	0972（63）4136
	佐伯土木事務所	佐伯市長島町1-2-1	0972（22）3171
	豊後大野土木事務所	豊後大野市三重町市場1123	0974（22）1056
	竹田土木事務所	竹田市大字竹田字山手1501-2	0974（63）2108
	玖珠土木事務所	玖珠郡玖珠町大字塚脇137-1	0973（72）1152
	日田土木事務所	日田市城町1-1-10	0973（23）2141
	中津土木事務所	中津市中央町1-5-16	0979（22）2110
	宇佐土木事務所	宇佐市大字法鏡寺235-1	0978（32）1300
※申請の際には、事前に各土木事務所にご相談ください。			

河川事業

河川改修事業(直轄管理区間)

県内に流域をもつ一級河川には、山国川、大分川、大野川、番匠川、五ヶ瀬川及び筑後川の６水系があり、このうち五ヶ瀬川を除く５河川の指定区間外(大臣管理区間)で河川改修工事を実施しています。

河川改修事業(県管理区間)

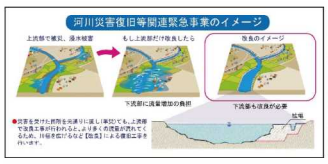
県内の一級河川の指定区間（知事管理区間）及び二級河川における河川改修事業（令和元年度時点）

・広域河川改修事業‥‥桂川等11河川
・総合流域防災事業‥‥武蔵川等１2河川
・河川災害復旧等関連緊急事業‥‥大肥川
・河川激甚災害対策特別緊急事業
　‥‥津久見川、彦の内川
・大規模特定河川事業
　‥‥山国川、二串川、八坂川

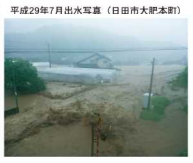
を実施しています。

○河川災害復旧等関連緊急事業（大肥川／日田市）

上流部の災害復旧事業に関連し、下流部における流量増加量への対応が必要な区域において、概ね４年間の緊急的な集中投資により、再度災害の防止を図ります。平成29年度九州北部豪雨で被災した大肥川（日田市）で事業に着手し、河積の拡大や橋梁等ネック構造物の改築を行っています。



平成29年7月出水写真（日田市大肥本町）



捷水路計画（日田市大肥）

川崎橋（日田市夜明）

○河川激甚災害対策特別緊急事業(津久見川・彦の内川/津久見市)

洪水、高潮等により激甚である災害が発生した地域について、概ね５年間の緊急的な集中投資による河川改修により再度災害の防止を図ります。

平成29年度より、津久見川・彦の内川（津久見市）で事業に着手し、河積の拡大や橋梁・堰等ネック構造物の改築を行っています。

平成29年9月　出水写真

津久見川氾濫状況

施設の長寿命化

施設の点検を着実に進めながら、長寿命化計画に基づき、適切なタイミングで補修・補強を実施することにより、持続可能で効率的な維持管理を進めています。

長寿命化計画を策定している施設
治水ダム
排水機場
水　門
樋門・樋管

中江川水門(佐伯市)

長寿命化計画に基づき更新した樋門（臼杵市）

着工前　　完　成

総合治水対策推進事業

近年の頻発・激甚化する豪雨や台風災害に対応するため、最新の降雨状況や、地域の特性を反映させた雨量データに基づき算出した新たな河川の計画流量により、現計画と既存施設に対して検証を行います。その結果、治水対策が必要な箇所については、緊急度や重要度に応じ、ハード対策とソフト対策をより効果的に組合わせた治水計画に抜本的な見直しを行うことで、総合的な治水対策を推進します。

かわまちづくり

“かわまちづくり”とは

地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、地域活性化や観光振興などを目的に、市町村や民間事業者、地域住民等と河川管理者が各々の取組みを連携することにより「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間を形成し、河川空間を活かして地域の賑わい創出を目指す取組です。

○芦川かわまちづくり

竹田市長湯地区では、長湯温泉があり、温泉利用型健康増進施設の整備や街なみ再整備により観光客の誘致に取組んでいます。

この取組みの充実を図るため、温泉街を流れる河川空間を活用した地域の魅力の向上を図り、観光振興の促進を目指します。

この取り組みに対し、県では、必要な河川管理施設の整備により支援を実施します。

整備イメージ

○玉来川かわまちづくり

竹田市玉来地区では、「総合文化ホール」をリニューアルしたほか、公園施設等の整備を行いながら魅力を高め、観光客の誘致に取組んでいます。

この取組みの充実を図るため、川に囲まれた地域特性を生かし、総合文化ホールや公園施設等と河川空間が一体的に利用できる空間となるよう整備するほか、新たなイベント開催を通じて観光振興の促進を目指します。

この取り組みに対し、県では、必要な河川管理施設の整備により支援を実施します。

整備イメージ

豊の国の川づくりに向けた取組

○多自然川づくり

河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理を行っています。

有田川（日田市）

七瀬川（大分市）

○川づくりの人材育成

川づくりに関する技術取得、取組の情報共有、意見交換のための事例発表の場として「川づくりコンペ」を開催しています。

机上でみる資料だけでなく「現場」で川づくりを考え技術力の向上を図っています。

コンペの様子

川づくりを考える様子

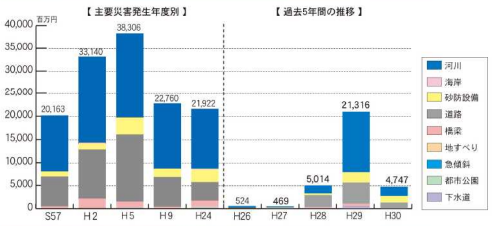
防災・減災事業

災害復旧事業

本県は山地が多く地形的にも複雑であり、毎年梅雨や台風、秋雨の異常気象による豪雨災害が多く発生しています。最近では昭和57年、平成２年、５年、９年、10年、16年、17年、19年、24年、29年に甚大な被害を蒙り多数の尊い人命、財産が失われました。

生活基盤の整備と民生の安定を図るため、災害復旧事業を推進し、災害に強い県土をめざしています。

過去５年間及び主要な災害発生年度の公共土木施設災害復旧事業査定決定額

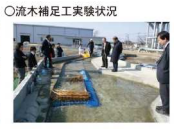


災害関連事業

平成29年７月５日から７月６日の線状降水帯に伴う豪雨により、小野川流域では、溢水、護岸崩壊等が発生し、床上浸水12戸、床下浸水８戸が発生しました。家屋の浸水箇所を含む一連区間において、引堤や橋梁架替、流木補足工の整備など改良復旧を行うことにより浸水被害を防ぎます。

○被害状況

○流木補足工実験状況



○被災直後と現在状況

【被害直後】

【現在状況】

【現在状況】

海岸事業

海岸事業の概要

本県の海岸事業は、昭和25年・26年のルース・キジヤ台風による災害を契機に、宇佐海岸の高潮対策に着手したのがはじまりです。その後、昭和43年度に幸崎海岸などで浸食対策事業を、昭和48年度に奈多海岸、平成11年度に完成した田ノ浦海岸などで海岸整備事業を実施してきました。

現在は、長寿命化や耐震対策及び環境整備事業を実施し、海岸保全対策を図っています。

田ノ浦海岸（大分市）

田ノ浦海岸利用状況

地域住民やNPOと協働した河川・海岸づくり

大分県での取り組み

これまでの川づくりは、人々の生命や財産を洪水の被害から守ること、生活用水や農業・工業などに使用する水を安定的に供給することを主な目的として、国や県といった行政の主導により進められてきました。

平成９年度の河川法改正により、環境にも配慮した川づくりを行うこと、計画を策定するうえで地域からの意見を聞くこと等が法律で定められました。また、海岸法も平成11年度に改正され、利用と環境が位置付けられました。

このようなことから、近年NPOや法人との川・海岸を舞台とした様々な取組や、教育の場における河川や海岸の環境を題材とした総合学習などの取り組みが活発に行われています。

大分県では、幅広く地域住民の方々から川や海岸に対する思いや意見を伺いながら一緒に川づくりや海岸づくりを進めて行く仕組みとして、地域住民といっしょの川づくり（海岸づくり）、NPOとのパートナーシップによる川づくり（海岸づくり）に取り組んでいます。

○流域の市民・活動団体との意見交換

大野川（豊後大野市）

○ダムの現場見学

玉来ダム（竹田市）

○河川に関する環境学習

臼杵川（臼杵市）

水防災意識社会再構築ビジョンの取組

○大規模氾濫に関する減災対策協議会

県内７地区に設置した大規模氾濫に関する減災対策協議にて、水防災意識社会の再構築に向け、地区毎に取組指針を決定し、国・県・市で一体的に取組を推進します。

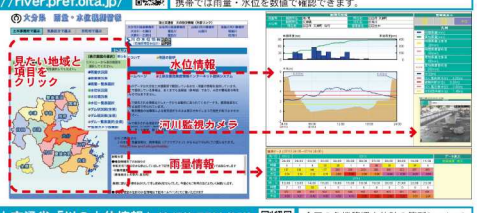
○防災情報提供強化

洪水、土砂災害等の自然災害時に迅速かつの確な水防活動を可能とするため、雨量及び河川水位等の情報を迅速に収集把握し、広く一般に提供する河川情報基盤を整備しています。

水位計や河川監視カメラの整備を行い、ホームページでの配信に加えスマートフォンなどを活用した情報配信を行っています。　また周辺住民の避難行動や市町が発令する避難勧告、避難指示の判断に資するため、中小河川に危機管理型水位計を設置し、防災情報の提供強化を行っています。

雨量・水位観測情報
http://river.pref.oita.jp/

大分県内の雨量計を設置した場所で、どのくらいの雨が降ったか、現在の河川水位がわかります。携帯では雨量・水位を数値で確認できます。



国土交通省「川の水位情報」（危機管理型水位計）
https://k.river.go.jp/

全国の危機管理水位計の箇所について、河川の水位が確認できます。

ダム事業

竹田水害緊急治水ダム建設事業（稲葉ダム・玉来ダム）

○玉来ダムの建設について

玉来ダムは、竹田市を貫流する一級河川大野川水系玉来川に建設している治水ダムです。

竹田市は、三方を九州の屋根久住連山、阿蘇外輪山、祖母・傾山系に囲まれており、市街地に河川が扇状に集中する地形を有しています。そのため、梅雨期を中心に度々洪水被害をもたらしてきましたが、昭和57年と平成２年のいずれも７月に大洪水が発生したため、平成３年度から「竹田水害緊急治水（稲葉・玉来）ダム建設事業」に着手し、予備調査が先行していた稲葉ダムは平成22年度に完成しました。平成24年７月の九州北部豪雨では、完成していた稲葉ダムが治水効果を発揮した一方で、玉来川沿いでは痛ましい被害が発生し、治水ダムの有無が明暗を分ける結果となりました。

以上のことから、竹田市街地をこのような洪水から守るために、玉来ダムの早期完成が求められています。

平成2年7月の出水状況（稲葉川 豊岡橋付近）

平成2年7月の出水状況（玉来川 常盤橋付近）

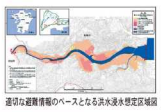
平成24年7月の出水状況（玉来川 竹田市文化会館付近）

平成24年7月の出水状況（玉来川 桜瀬橋付近）

○ハザードマップ作成支援

想定し得る最大規模の洪水浸水想定区域図の公表を完了し、今後は、市町村が作成するハザードマップ公表に向けて取り組みを進めていきます。

また、想定最大規模の高潮浸水想定区域図作成も進めており、市町村が実施する高潮ハザードマップ作成の支援も行います。



適切な避難情報のベースとなる洪水浸水想定区域図

障害防止対策事業

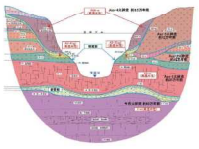
自衛隊や米軍の演習により日出生台演習場内が著しく荒廃し、場内裸地からの流出土砂や洪水流量の増加により、下流の人家や耕地に被害が生じていることから、これらの障害を防止する目的で、大分川、駅館川の河川工事を促進しています。

○玉来ダムの特徴

【地質】

玉来ダム周辺は、強度や透水性の異なる地質が複雑に分布しており、高透水性地質に対する止水やダム基礎等の地盤強度に関する技術的課題を抱えたダムです。

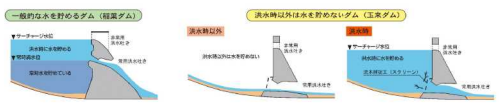
このような課題に対しても、稲葉ダムで蓄積した技術などを活用しながら、解決を図り、現在施工を進めています。



【流水型ダム】

玉来川は集水面積が大きく水量が安定しており、ダムに水を貯めて農地等へ補給する必要がないため、現況の河床近くに常用洪水吐きを設置し、洪水時以外は水を貯めない治水専用の流水型ダムとして計画しています。

河床近くに常用洪水吐きを設置することにより、貯水池内でも普通の川の状態が保たれるとともに、ダムの上下流における水や土砂の循環、魚道内の魚類の移動など、自然に近い物質循環が維持されるといったメリットがあります。



○玉来ダムの工事進捗状況（令和元年10月時点）

平成26年６月より転流工に着手し、平成29年３月には玉来ダム本体工事の契約を行い、平成29年10月に基礎掘削開始、平成30年10月より本体コンクリートの打設を開始しました。平成31年３月16日には定礎式を執り行い、令和元年度は工事の最盛期を迎え、引き続き本体コンクリートの打設を行っているところです。今後、止水対策などの工事を行っていき、令和４年度の完成を目指します。

令和元年10月現場状況①

完成イメージ

令和元年10月現場状況②